智慧結び法要短縮版 次第

# 転座

# 説示

○○さん、ご家族の皆さん、智慧結び法要、まことにおめでとうございます。この「智慧結び法要」は、浄土宗をお開きになった法然上人にあやかり、御仏の智慧を授かり、○○さんの輝かしい未来に向かって歩むために、明るく、正しく、仲よく生きることを誓い、本尊阿弥陀如来、また智慧の仏様である勢至菩薩に学業成就をお願いいたします。今日の智慧結び法要をきっかけに、心豊かな人生を送れるように努力を重ねて参りましょう。

（＊受者に導師の前に出てきてもらう）

# 灌頂洒水（＊ここでは洒水器を用いた作法となっています）

それではまず聖水灌頂を行います。阿弥陀如来様、勢至菩薩様の前で、この智慧のお水をおつむから注いで、大いなる仏の智慧を授かります。それではこれから作法をいたします。合掌をお願いします。

（順三）

おつむを下げてください。

これはこれ阿弥陀如来より給われる勢至菩薩の智慧の水なり。

 南無阿弥陀仏 （灌頂洒水）

（逆一）

# 同唱十念

それでは、学業成就、ならびに身と心の健やかなることを願って、皆さまとご一緒に十遍の南無阿弥陀仏をお称えいただき、阿弥陀如来様、勢至菩薩様にご祈願をしたいと思います。

同唱十念

# 誓いの言葉

　ただ今、○○さんは仏様からの智慧の水を授かりました。それでは、○○さん、本尊阿弥陀如来様、勢至菩薩様、また今日お集まりの皆様の前で、誓いの言葉を述べてもらいます。

　（＊受者に「誓いの言葉」を渡す）

では、読み上げてください。

　（＊受者による誓いの言葉）

「のびにあたり、、からとをかりました。のちをれず、をぎて、るく、しく、よくし、にむことをいます。

○○年○月○日　　○○」

（＊お守りと、読んだ「誓いの言葉」を載せた華籠を受者が持ち、導師を先導にして内陣本尊前まで進み、本尊前の三方の上に華籠を置く。その後、本尊前で焼香。受者は元の席に戻る）

# 転座

# 開経偈

# 誦経（焼香）『般若心経』など

（＊この間、導師はお守りへの洒浄作法）

# 祈願

　、○○

　しるのは○○、しるところ○○

# 普済偈

# 同唱十念

# お守り授与

# 挨拶